

## 郷土教育の推進

### 【現状と課題】

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う郷土教育の推進が必要です。

NHK大河ドラマ「篤姫」の放映や平成21年7月の皆既日食等により、本県が全国的にも改めて注目され、県民や児童生徒の、郷土の歴史や自然に対する関心は高まっています。また、平成23年春には、九州新幹線鹿児島ルートの特急全線開業が予定されています。

すべての小中学校で「郷土教育の全体計画」が策定されています。

少子高齢化・過疎化や市町村合併等により、伝統芸能や集落の歴史等の継承が難しくなっています。

平成18年に制定された観光立国推進基本法を受け、平成19年には観光立国推進基本計画が策定され、観光の振興に寄与する人材の育成が掲げられています。

### 【これからの施策の方向性】

各学校において、郷土芸能や伝統産業を体験する活動や先人の業績や生き方について学ぶ活動などの充実を図り、鹿児島の魅力を語る人材の育成に努めます。

児童生徒の郷土に対する関心が高い現在の状況を好機として捉えて、地域にある歴史民俗資料館などの施設利用の促進なども含め、郷土教育の推進を図ります。

郷土鹿児島に誇りを持ち、未来を担う子どもたちを育てるために、教職員が鹿児島の文化、歴史、伝統等についての理解を深め、教育実践がなされるよう、郷土教育に関する資質向上を図ります。

貴重な鹿児島の伝統文化の継承について、関係機関と連携しながら、継承できる仕組みづくりなどの取組に努めます。

### 【主な取組】

各学校において、道徳、総合的な学習の時間、教科等の授業を通して、観光資源など郷土の素材を生かしながら、郷土の魅力について調べ、発表し合うなど郷土に根ざした教育活動の一層の充実を図ります。

また、我が国や郷土の地理・歴史、伝統、文化について理解を深めさせるとともに、国旗・国歌を尊重する取組に努めます。

各学校において、学校行事や授業等で、地域と学校がより連携して、地域に根ざした特色ある郷土教育の取組が行われるよう指導します。

「かごしま検定」(鹿児島観光・文化検定)などについて、児童生徒の受検や教員研修での活用を推奨するとともに、関係機関との連携を図るなど必要な条件整備を行います。

各市町村教育委員会が管内の郷土素材の収集、吟味、教材開発等が行えるように、事例を幅広く紹介するなど積極的な取組を促します。

「ふるさとの心」や「郷土の先人」など、これまで発行した郷土教育の資料を吟味・精選し、再構成するなどして、郷土の歴史を学ぶ教育を支援します。

郷土教育に関する教職員の研修を充実します。